

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

【学力調査の結果】

1 国語

平均正答率は、全国平均 66.8%、県平均 68%に対し、本校は 64%でした。

1) よくできているところ

- ・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる
 - ・ 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる
 - ・ 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる
- 問1一、三(1)、三(2) 思考力、判断力、表現力

2) 課題となったこと

- ・ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる
- 問1二 知識及び技能

3) まとめ

- ・ 本校では協同的探究学習を進めています。伝え合う力を向上させていることからそれに関連する正答数が多いものと考えられます。
- ・ 絵や図などを読み取り、情報を分析する力に課題があります。そのため、集めた材料を聞き手が知りたい内容と自分が伝えたい内容に整理したり、提示する資料を検討したりする機会を増やします。

小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることになりました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを知りたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだね。

小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

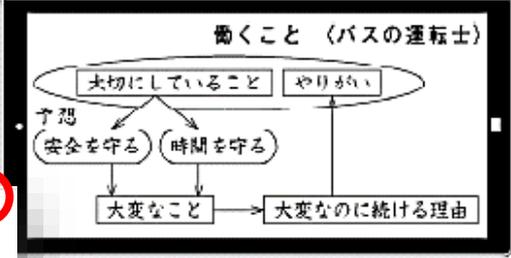
清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていただけ、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方がいいかな。

【話し合いの記録】



あまりできなかった

よくできていた



- 1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
 - 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
 - 3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選べるようにしている。
 - 4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 二 「話し合いの記録」の書きまし方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。
 - 2 質問する内容を四角で囲み、線をつなぐことでインタビューの流れを整理している。
 - 3 質問する内容を短い言葉で書き、線をつなぐことで質問を一つにしている。
 - 4 質問する内容をできるだけくわしく書き、多くの質問ができるようにしている。

2 算数

平均正答率は、全国平均 58%、県平均 59%に対し、本校は 53%でした。

1) よくできているところ

- ・全国、県平均を上回るものはありませんが、比較的がんばっているものとしては、平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる問題や台形、角の大きさなどの問題です。

→問2 (1) ~ (4) 知識及び技能等

2) 課題となったこと

- ・棒グラフから項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる問題や、資料から必要な情報を読み取る問題、など数と計算の領域です。

→問1 (1)、(4) 及び問3 (1) ~ (4) 思考力、判断力、表現力等

3) まとめ

- ・図形の問題については事物を視覚的に捉えやすく、昨今の ICT を取り入れた授業により児童の力が向上しているものと考えます。
- ・算数の基本能力である計算力(正確さと速さ)を鍛える取り組みを進めます。また、資料やグラフ、表などから正確に数値を読み取り、状況を把握する力をつけてまいります。そのために授業では普段の生活との結びつきについて随時意識させます。

算数 1 目的に応じてデータの特徴や傾向を捉えること（野菜）

1

あいりさんたちは、2026年度からブロッコリーが指定野菜に追加されることをニュースで知り、指定野菜について調べることになりました。



(1) あいりさんは、ブロッコリーについて調べていると、右のグラフ1を見つけました。



✖ あまりできなかった

グラフ1からわかることを、次のようにまとめます。

2022年の全国のブロッコリーの出荷量は、2002年の出荷量の約 倍になっています。

上の空に入る数を、下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.5
- 2 2
- 3 8
- 4 16

理科

平均正答率は、全国平均 57.1%、県平均 57%に対し、本校は 53%でした。

1) よくできているところ

- ・ ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身につけているかどうかを問う問題がよくできていました。

→問3 (1) 知識及び技能

2) 課題となったこと

- ・ 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、実験方法を発想し、表現することに課題が見られました。

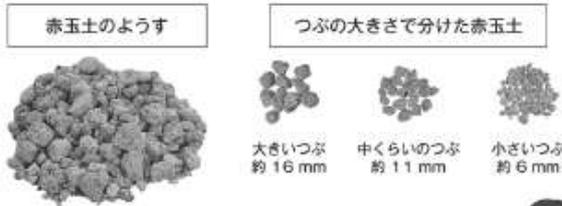
→問1 (1) ~ (3) 思考力、判断力、表現力

3) まとめ

- ・ 学校の畑で実際に育てた植物に関する問などはよくできていました。
- ・ 実験方法を問う問題や、顕微鏡などを扱う問題については課題に対する実験方法を考えたり、実験器具を選定する思考力が問われたりします。授業では、単に教科書通りの実験方法を扱うだけでなく、まず実験計画を自分で考える等の時間を設けていくように工夫します。

1

としやさんとあかりさんは、学校の花だんに入れた、赤玉土あかたまつちという土を見て、気づいたことを話しています。



赤玉土のつぶの大きさは、いろいろあるね。
としや

あかり 「水のしみこみ方は、土のつぶの大きさによってちがいがあある」ということを学習したけれど、赤玉土でも同じなのかな。水がしみこむ時間で比べてみよう。

あかりさんたちは、次のような【問題】を調べることにしました。

【問題】
水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがああるのだろうか。

条件を同じにしなければならぬ実験

あかりさんたちは【問題】を、大きいつぶと小さいつぶの赤玉土で確かめる【方法】について考えました。

【方法】

- ① どう明なプラスチックでできた2つの同じコップに次のことをする。
・4つの穴を同じようにあける。
・同じ高さの線を図のように引く。
これらを穴あきのコップA、Bとする。
- ② 土をふるろから取り出し、次のように入れる。
・コップAは大きいつぶの赤玉土
・コップBは小さいつぶの赤玉土
- ③ コップAに水をすばやく入れ、時間をはかり始め。水の面が同じ高さの線に下がるまでの時間をはかる。コップBも同じようにして時間をはかる。
- ④ 受け皿にたまった水、コップの土や水をすべへ出し。②と③を全部3回行う。

(1) 上の【方法】で、コップAの条件を下の通りにしたとき、コップBの条件(赤玉土の量と水の量)は、どのようにすればよいでしょうか。下の(ア)と(イ)の中にあてはまる数字を書きましょう。

	つぶの大きさ	赤玉土の量	水の量
コップAの条件	大きい	300 mL	250 mL
コップBの条件	小さい	(ア) mL	(イ) mL

✖ あまりできなかった

【児童質問紙調査の結果】

グラフの凡例

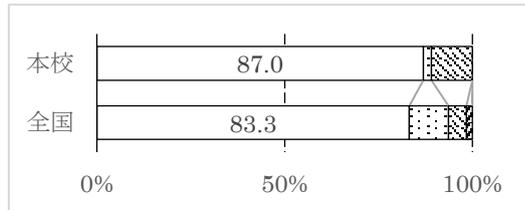
□ 当てはまる

▨ どちらかといえば、
当てはまる

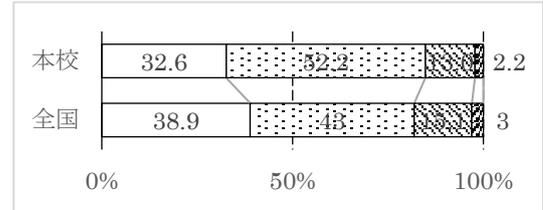
▩ どちらかといえば、
当てはまらない

▧ 当てはまらない

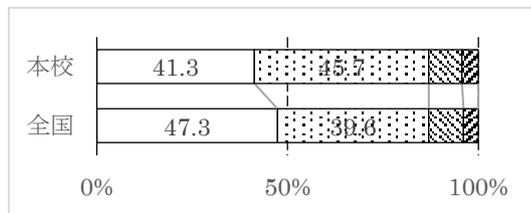
・朝食を毎日食べている



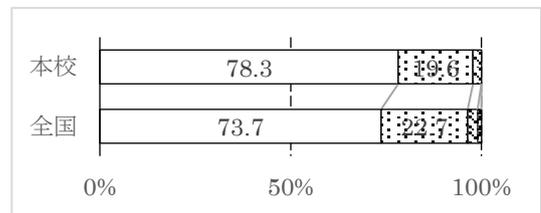
・同じくらいの時間に寝ている



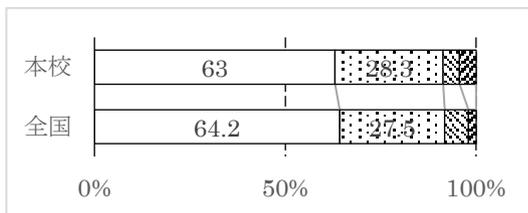
・自分には良いところがある



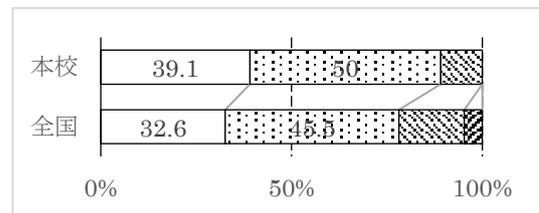
・人の役に立つ人間になりたい



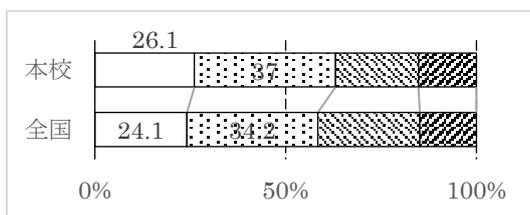
・友だち関係に満足している



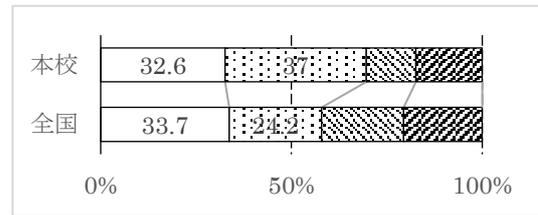
・自分と違う意見について考えることが楽しい



・国語の勉強が好き



・算数の勉強が好き



児童質問紙調査のまとめ

- ・朝食をしっかりと食べている児童は87%と、全国平均を上回っています。しかし、毎日欠かさず食べているわけではない児童もいます。就寝時刻と合わせて、規則正しい生活に努められるよう、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。
- ・「自分には良いところがある」と回答した児童は全国平均をやや下回りましたが、「人の役に立つ人間になりたい」という児童は全国平均を5%上回っております。これは、本校の児童たちが意欲的に向上心をもって学習や生活に取り組んでいることの表れだと感じております。
- ・友達関係については、おおむね満足している児童が多い状況です。「自分と違う意見について考えることが楽しい」と回答した児童は、全国平均を約7%上回っております。「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童も含めると、10%以上多くなっており、これは授業での意見交流に強く興味を持っていることの表れである可能性がございます。ぜひ、友達関係においても、異なる意見の人と上手く交流できる人間に育てほしいと願っております。
- ・国語や算数が好きな児童は、「どちらかといえば当てはまる」児童を含めると、国語・算数ともに全国平均を5%以上上回る結果となっております。

最後に

今後も本校が掲げる学校教育目標「心身ともに健康で、自ら学び、高め合い、自立する陵北っ子の育成」のために、学校、家庭、地域が連携し、児童への教育の充実を図ってまいります。引き続き、本校の教育にご協力を賜りますようお願い申し上げます。